

仏教講座配布用資料 ～タイを知る会～



タイ国日本人納骨堂々守・高野山真言宗泰國開教留学僧
内堀 陽弘

タイ国日本人納骨堂々守・高野山真言宗泰國開教留学僧 内堀陽弘 ～プロフィール～

神奈川県に生まれる

高野山高校へ入学 十五歳で出家・得度

高野山大学へ進学、金剛峯寺堂司として大学へ通う

大学卒業一年後、高野山真別所へ入所、四度加行成満・伝法灌頂入壇

奥之院、真別所等へ勤務

令和三年五月タイ国ワット・ラチャブラナ本堂にてタイ比丘として出家・受戒

チベット 標高4000mの景色



目次

1 釈尊（お釈迦様）

2 教えと三蔵

3 部派仏教から大乘仏教

4 タイ仏教と日本仏教

5 比丘の生活

6 お参りのルール

7 日本人納骨堂

8 まとめ



第1章 釈尊 (お釈迦様)

1 釈尊（お釈迦様）の尊称

釈尊とは. . .

釈迦牟尼世尊の略
(釈迦族の聖者で世にも尊い方)

タイでは. . .

サカヤムニ

他にも. . .

- 仏陀 (ブツダ)
- 正覚者
- 阿羅漢 (アラカン)
- 薄伽梵 (バカボン)
- 如来 (ニョライ)

- プラプッタジャーオ
- アルハット
- パカワット
- タターカタ

2 釈尊のご生涯



ネパール・ルンビニ 夕刻の湿原

2 釈尊のご生涯

降誕

今から約2500年前に北インド・カピラ国の王子として**ルンビニー**村（現ネパール）で生まれる。日本では4月8日花まつりとして知られる。



ネパール・ルンビニー 摩耶聖堂と無憂花（アショーカの花）

菩提

29歳で落飾、出家をする。6年におよぶ苦行・修行の末に苦行を放棄しガヤーの**菩提樹**の下で悟りをひらく。



インド・ブッダガヤ 菩提樹と大塔



インド・クシナガラ 日の出と涅槃寺と参道

初転法輪

サールナートにおいて苦行時代の五人の仲間に初めて教えを説いた。ここにブッダ（**仏**）と教え（**法**）と弟子（**僧**）の**三宝**が揃った。

タイではこの日を**アハンブーチャ**（**三宝節**）と呼び祝日となっている。



インド・サールナート 大塔とスリランカ寺

涅槃

80歳になられた釈尊は**クシナガラ**で最後の教えを説き、**沙羅双樹**の間で横臥し**涅槃**に入られた。

遺骨は**仏舍利**としてはじめ八等分され、後に**8万4千**に分けられてインド全土に祀られた。



インド・クシナガラ 涅槃像と沙羅双樹



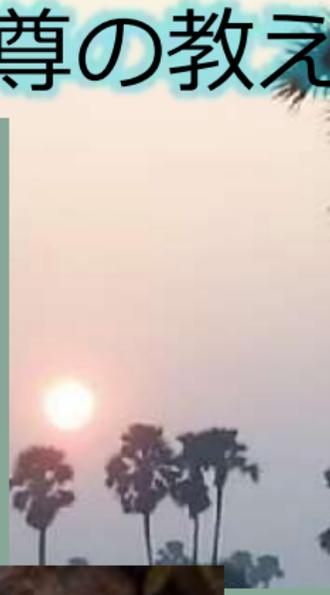
第2章 教えと三蔵

1 釈尊の教え



1 釈尊の教え

釈尊は出家してより約50年に渡って様々な人々と出会いその人々に応じて様々な教えを説いてきた。
その数は**8万4千**といわれる。



インド 竹林精舎壁画



基本的な教えに**縁起論**、**四諦八正道**などがあるがそれぞれの人々にあった説法をすることが多かった。これを**対機説法**という。

ネパール カトマンズ市内の病院の壁画とタイのパーリ經典

2 三蔵



サラブリー ワット・マカブーチャ

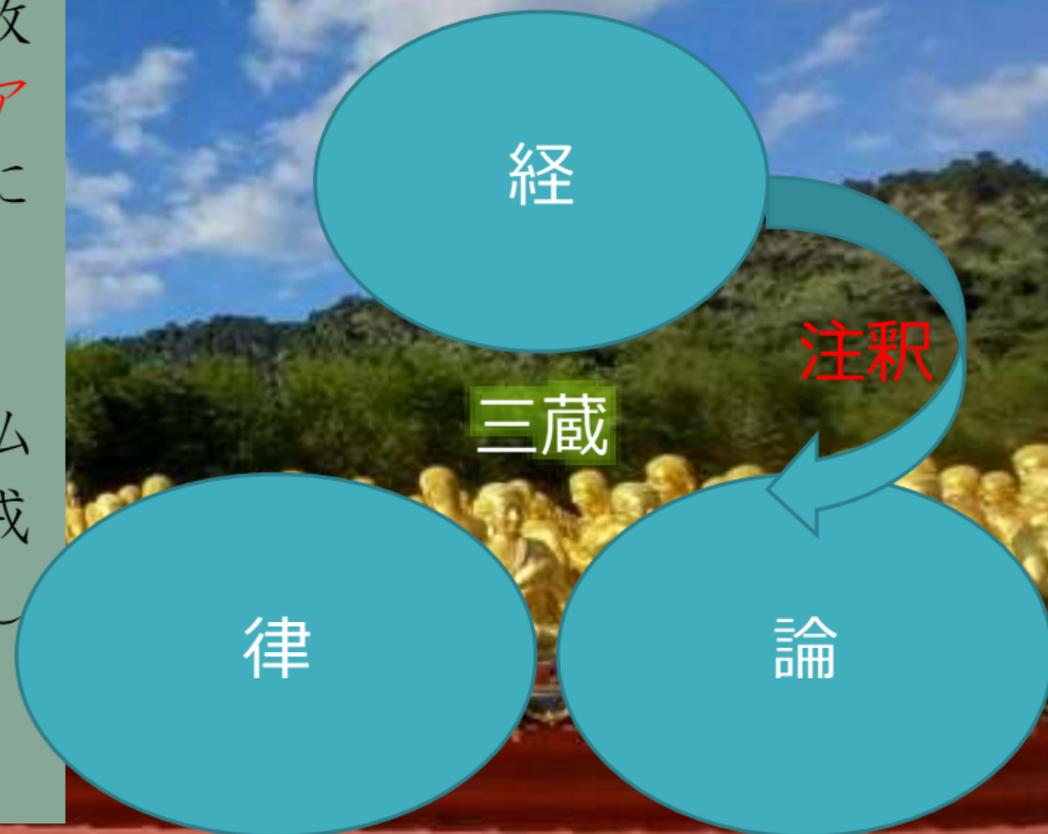
2 三蔵

釈尊の入滅後500人の弟子らによって教えがまとめられた。さらに1000年後にアショーカ王によって第2回、2000年後に第3回がおこなわれた。

これを結集（ケツジュウ）という。

これにより、釈尊の説法をまとめた経（仏典）、釈尊が定められた規則である律（戒律）、お経を解釈した論（論書）が成立した。これをまとめて三蔵という。

また、解釈の違いにより教団は分裂した。



第3章 部派仏教から大乘仏教

チベット セラ寺での問答

1 部派仏教

前章の結集から教えの解釈の違いや戒律に対する緩急などで教団は**上座部**と**大衆部**に二分され、さらに**18**ものグループに分かれた。これらをまとめて**部派仏教**という。



インド 聖地における誦経とサンカーシャのインド僧



インド 祇園精舎とクシナガラ

部派ごとに**三蔵**がそれぞれ継承され経・律ともに大差ないものの、**論蔵**に関しては互いに否定しあうほどに展開していた。

仏滅後（紀元前7世紀頃）

結集

仏滅後100年 根本分裂

上座部

大衆部

末子分裂

分別説部

法蔵部

説一切有部

正量部

他6部派程に
分裂

8部派程に
分裂

2 大乘仏教

1世紀頃、部派仏教のうちからさらに三蔵の新たな解釈、思想が生まれた。やがて動きは盛んとなり、多くの人を乗せて救う大きな乗り物という意味で大乘仏教と名乗った。

大乘仏教は、それまでの部派仏教に対して、小乗と称し論難していたが、あくまでも部派仏教の三蔵を前提としているため、大乘仏教といってもいずれかの部派の三蔵を継承していた。また、土着の神々を取り入れ新たな如来や菩薩が生み出された。

仏滅後（紀元前7世紀頃）

結集

仏滅後100年 根本分裂

上座部

大衆部

末子分裂

分別説部

法蔵部

説一切有部

正量部

他6部派程に
分裂

8部派程に分
裂

1世紀頃 大乘仏教の台頭

大乘仏教

特に法蔵部、正量部、大衆部等には初期の大乘の考えが含まれている。

3 仏教の伝播



3 仏教の伝播

7世紀頃になると有力な部派も5つ程となりほとんどは**大乘と兼学**される。

部派ごとにインド全土及び周辺国につたわり、13世紀にインドにおいて仏教が衰退した後も**諸外国**において教えが伝播していった。



タイにはそれまで大乘の痕跡があったものの**スリランカ**から大乘の要素を抹消した**分別説部（上座部）**の仏教が伝わりと分別説部に**統一**された。

日本には**いくつもの部派のテキスト**が大乘仏教とともに伝来した。そのうち**法蔵部と説一切有部**の戒律は今日まで伝わる。

法蔵部

法蔵部

イスラム勢
力の侵攻

説一切有部

法蔵部

中国、朝鮮、ベトナム、日本等
東アジアへ

分別説部
(上座部)

大衆部

説一切有部

チベット、中国、日本等
北アジアへ

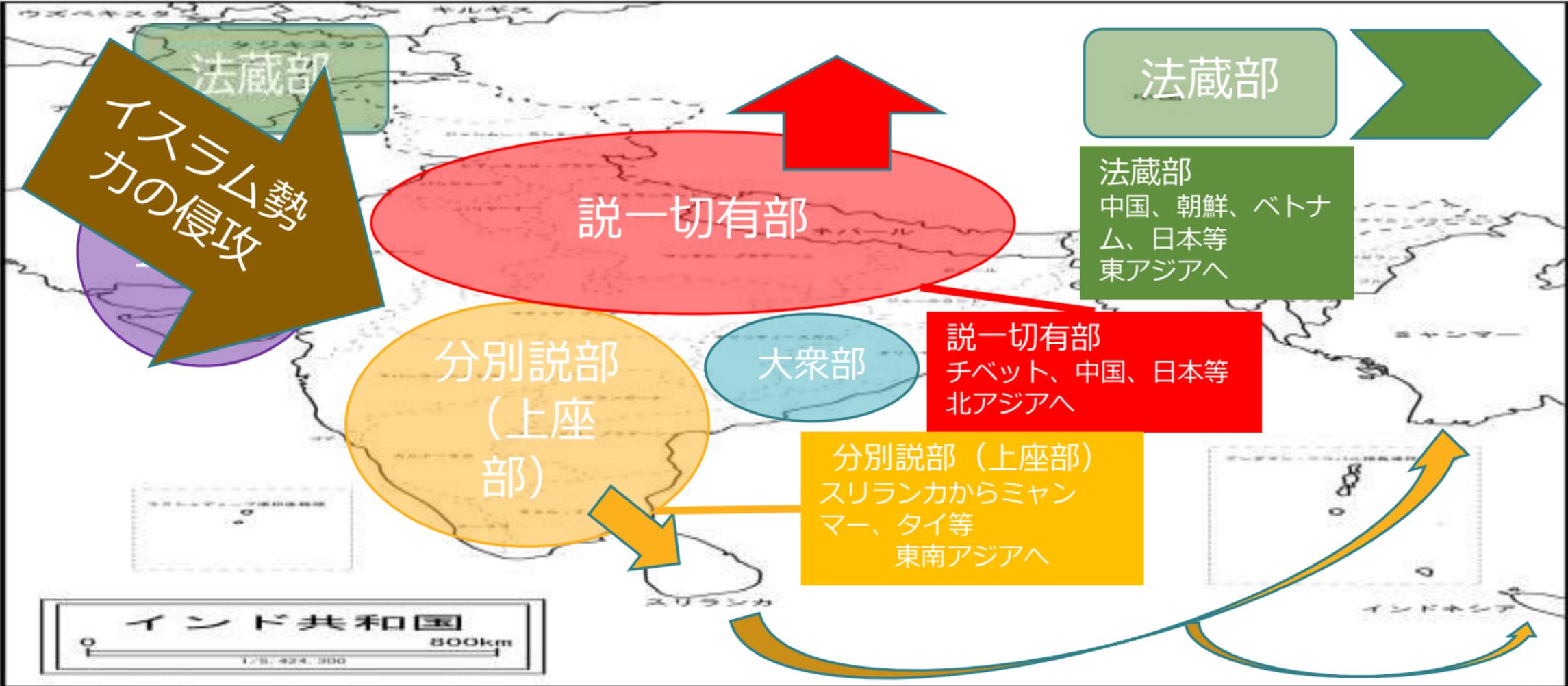
分別説部 (上座部)

スリランカからミャンマー、タイ等
東南アジアへ

インド共和国

500km

173,424,300



A large group of Buddhist monks in orange robes are sitting on the ground in a courtyard, surrounded by colorful prayer flags and Thai national flags. The scene is outdoors, with trees and a clear sky in the background. The monks are arranged in rows, and some are holding books or scrolls. The overall atmosphere is one of a religious gathering or ceremony.

第4章 タイ仏教と日本仏教

インド・竹林精舎 タイ僧団による誦経

タイ仏教と日本仏教

項目	タイ仏教	日本仏教
仏（礼拝対象）	釈迦牟尼仏と高弟、阿羅漢、過去七仏、高僧 大乘仏教の菩薩、神々などは礼拝の対象とはならない。	大乘経典に登場する様々な如来、菩薩、神々等、多岐にわたる。
経典	パーリ語仏典	サンスクリット語漢訳仏典 用いる経典は宗派によって異なる。
戒律	パーリ律227戒 現在社会に順応し、概ね順守している。	四分律250戒 有部律249戒又は257戒 大乘円頓戒58戒 宗派により受ける戒律が異なる。又は重ねて受ける。 明治以降、形骸化し現在では儀式の一部となり、継承される。
宗派	大別して2つあるがどちらも部派を同じくする。作法等が少し異なる。	主なもので20を超える。 宗派ごとに祀る対象、三蔵（三蔵を有しない宗派もある。）等が異なる。
尼僧	タイでは尼僧のサンガ（僧団）が消滅したため、女性は出家出来ない。メーチーと呼ばれる8の戒律を守る集団がいるが尼、尼僧ではない。	宗派を問わず、出家ができる。近年は住職の配偶者や子女がなる場合が多い。

2 僧侶への道

タイ仏教

- 出家・得度をした時点で正式な僧侶である。
ただし、短期出家の場合は僧侶であることの証明書手帳は発行されない。
後に仏教試験やパーリ語検定などがある。



日本仏教

- 出家・得度、受戒、度牒登録の後、真言宗の場合は100日間の加行の後、傳法灌頂・諸伝授を経て正式な真言阿闍梨となる。



奈良県 大峰山観行 和歌山県 高野山真別所 護摩行

得度前の剃髪とパーリ語の授業

A group of Buddhist monks in orange robes are engaged in a large-scale cleaning activity at a temple. They are using high-pressure water hoses to clean a wide set of stone stairs. The monks are wearing face masks. The background shows a white stone building with ornate architectural details, including golden finials and decorative panels. The scene is outdoors, and the ground is wet from the water being sprayed.

第5章 比丘の生活

1 1日の流れ

5 : 0 0	起床
5 : 3 0	托鉢
7 : 0 0	粥食 (朝食)
8 : 0 0	朝勤行
9 : 0 0 ~	授業又は、法事等
1 1 : 0 0	斎食 (昼食)
1 2 : 0 0 ~	雑務等
1 6 : 0 0	夕勤行
2 2 : 0 0 頃	就寝

左がおおよそその1日の流れである。
基本的に変則的な為、当てはまらないことが多い。他の比丘や寺によっては大きく異なることが多い。

満月と新月の日に布薩会 (比丘らで集まって227戒の確認) がある。
上記の布薩に加え半月の日は、タイではワンプラと呼ばれる。

2 戒律と生活

比丘には227の戒律があるが実際に生活する上で知っておかなければならない戒律は一部である。

一例として...

- 正午を過ぎて食べ物を食べてはならない。
- 女人に触れてはならない。
- 酒を飲んで是不なる。
- 置いてあるものをとってはならない。



3 タイでの法事の一例

1. 信者が寺側に日時を伝える。
2. 寺の中で行ける比丘を募る。
3. 信者の迎えにより、家又は施設に向かう。（信者が寺に来る場合もある。）
4. 到着後、座坪に着き、飲み物等を配られる。
5. 信者が揃い次第、信者側の代表が僧に五戒を乞う。受戒後、読経が始まる。
6. 読経後、食事が運ばれる。
7. 食事後、お布施や様々な供物が運ばれる。

8. 僧侶側が呪願をする。
9. 解散





第6章 お参りのルール

バンコク ワット・サケット

1 タンブン

タンブンとは**功德を積む**ことである。方法は様々あり、**戒を守る**、**仏教の知識を得る**等々10の項目がある。

中でも身近でなのは、**お寺にお参り**をして**お賽銭**や**お布施**を施すことである。

財物を施すというのは、日本では**喜捨**といい、文字通り**喜んで捨てる**の意であり、自身の財物に対する**執着を減らす**ことによって積む功德である。**見返りを求めない施し**であり、**お金によって功德というサービスを得る**という概念は間違っている。

2 お寺でのお参り



ワット・リヤップ ロイカトンの本堂

2 お寺でのお参り

注意事項

- 露出を控えた格好にする。
- 屋外の場合でも本堂の周辺や指定の領域は裸足。
- 女性は僧侶や仏像に直接触れない。（仏像に金箔を貼る場合は別）
- 僧侶の修行の妨げとならないよう、騒がない。
- 基本的に本堂や仏塔の周りは時計回り（右回り）



バンコク ワット・サケット プラシーワリー像とワット・パクナム 本堂前広場

お参りの一例

1. 売店で線香・蠟燭・花・金箔等を購入
2. 持ったまま本堂又は、仏塔を時計回りに三周
3. 本尊の前の所定の位置にそれぞれ捧げる
4. お参りできる場所で三礼、読経
5. 再度三礼し、終了



三礼とは. . .

正座（男性はかかとをたてる）で頭を地につけることで、土下座の姿勢である。手で仏の御足を頂くと感じる。これを三度繰り返す。

礼拝（ライハイ）又は、五体投地という。

お参りの一例

1. 売店で線香・蠟燭・花・金箔
等を購入



で頭を地につけることで、土下座の姿勢である。手で仏の御足を頂くと感じる。これを三度繰り返す。
礼拝（ライハイ）又は、五体投地という。



バンコク郊外 プッタセンタ







サラブリー ワット・マニーウォン









ศรี-ศาสดา

サラブリー ロンポーパクデー



サラブリー ワット・プラマカブーチャ



放生場（生き物を自由にすることで積むタンブン）

お参りの際の簡単な読経

タイでは在家信者の場合でも僧侶に匹敵するほど読経に通じてる人々が多い。
短いお経でも唱えられると良い。



「ナモータ ッサー パカワトー アラ
ハトー サンマー サンプッタサー」
× 3



幸福を保つ世にも尊く、供養を受けるにふさわしい、至上の悟りをひらかれた、仏陀に帰命し奉ります。

第7章 日本人納骨堂



泰國日本人納骨堂

日本人納骨堂とは. . .
明治42年頃から在タイ邦人の「日本人墓地をつくりたい」という願いから昭和10年に建立されたお堂。
本尊は鎌倉時代に造立された釈迦如来坐像で名古屋日泰寺より請来された。

お堂の建立に携わった初代堂守である藤井真水師が高野山真言宗の僧侶であったことから戦後、高野山より三年ごとに堂守として留学僧が派遣されている。以来87年、今代内堀陽弘で23代を数える。

活動として. . .

春・秋の彼岸、カンチャナブリ
慰霊等法要が実施される。

宗派を問わず納骨・法事等を
承っている。（尚、日本人会に
よって運営されているため納骨
に際しては日本人会への入会が
必要である。）

お問い合わせ

日本人納骨堂々守 内堀陽弘（ウチボリヨウコウ）

納骨堂TEL 0-2225-1592 又はタイ国日本人会までご連絡ください。

堂守から. . .

基本的に毎朝、托鉢と勤行をしてい
るのでどちらも参加していただいま
す。

時間ができたときにでも気軽にお参
りに来ていただけたらと思います。
質問要望があれば、遠慮なくお問い
合わせください。

アクセス
最寄り駅 MRT Sanam Chai駅



Googlemapでワット
ラチャブラナと検索
するとわかりやすい。



第8章 まとめ

バンコク ワット・ラチャナダー

タイにとって仏教は欠かせないものであり、タイの文化、習慣を知る上では必要不可欠な要素であります。

日本とタイを繋ぐ要素としても両国に伝わった仏教は決して別のものではなく、同じ釈尊から枝分かれしたものであり、受容のされ方ひとつを見るだけでもお互いの国の形がわかることでしょう。

気おくれせずにもう少しでも仏教について触れ、知ってみましょう。

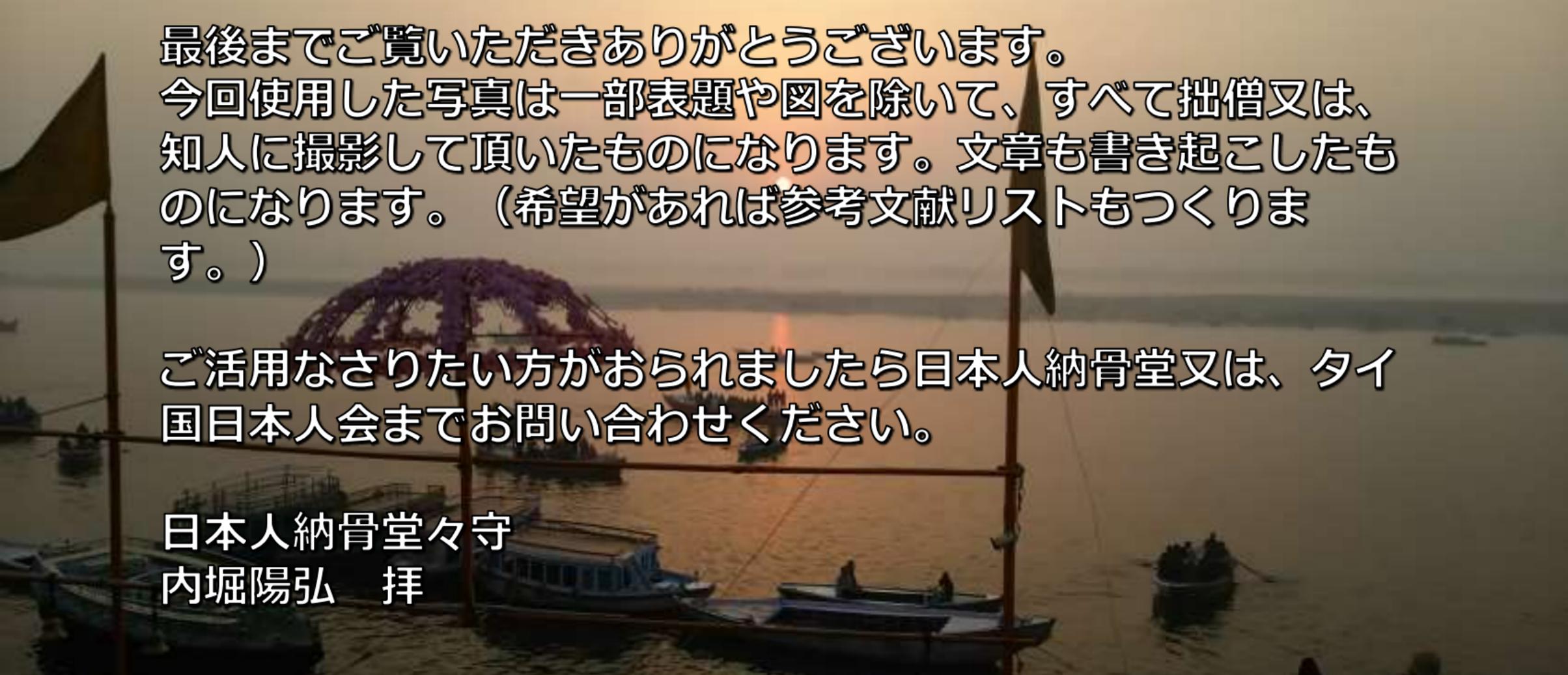


全ての悪いことを行わず
自らのところを清めること

善い事を為し
これがブッダたちの教えである

諸悪莫作 衆善奉行 自浄其意 是諸仏教

日本においては『七仏通戒偈』
タイにおいては『Buddhānasāsanā』(ブッダーナサーサナー)
として知られる。

A scenic view of a river at sunset. In the foreground, a traditional Japanese boat with a purple archway is visible. The background shows a calm river with a few other boats and a sunset sky.

最後までご覧いただきありがとうございます。
今回使用した写真は一部表題や図を除いて、すべて拙僧又は、
知人に撮影して頂いたものになります。文章も書き起こしたも
のになります。（希望があれば参考文献リストもつくりま
す。）

ご活用なさりたい方がおられましたら日本人納骨堂又は、タイ
国日本人会までお問い合わせください。

日本人納骨堂々守
内堀陽弘 拝